

尻別川新聞

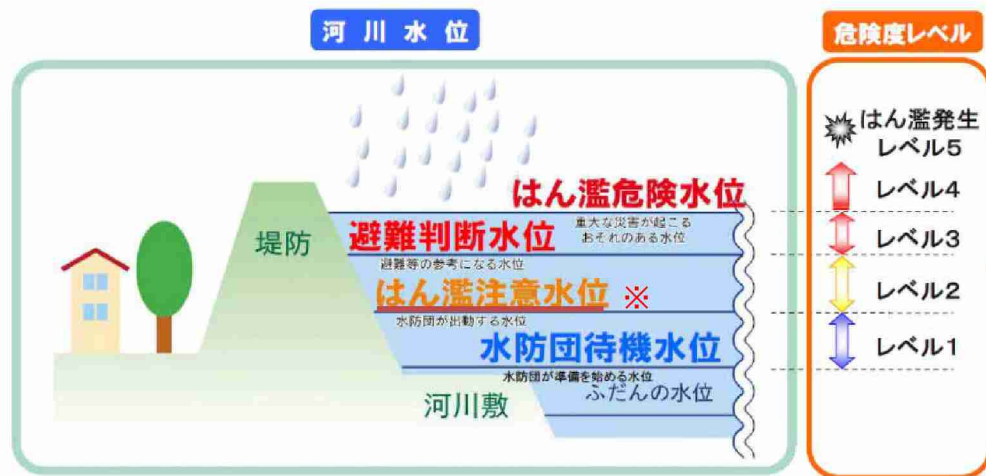
第2号

小樽開発建設部 倶知安開発事務所
平成24年5月8日

■雪解けは遅く、水量が多かった尻別川

今年の冬は雪が多く、また3月になってもなかなか暖かくなりませんでした。このため雪解けがいつもの年よりも遅めでした。

尻別川では、ゴールデンウィークに入る前頃から気温が高くなり、いわゆる『融雪出水』となりました。また水位(水かさ)は例年に比べて高めでした。豊国橋の近くにある蘭越水位観測所で『はん濫注意水位※』を超えたため、倶知安開発事務所では警戒体制に入り、蘭越町役場と連絡をとりながら対応しました。



- はん濫危険水位：洪水により相当の家屋浸水等の被害を生じるはん濫の起こる恐れのある水位
- 避難判断水位：避難勧告等の発令判断、住民の避難判断の目安となる水位
- はん濫注意水位：水防機関が出動して水防活動を行う目安となる水位
- 水防団待機水位：水防団が水防活動するため待機する水位

4月27日 目名川
フィッシュランド名駒付近



目名川の高水敷にある親水水路が増水で水の下になってしまいました。かろうじて水路にかかる橋の手すりが確認できました。



4月27日 豊国橋

ランラン公園の上流にある豊国橋には一目で水位(水かさ)がわかる目盛りがついています。5月4日夜から5日朝にかけて注意を示すレベル2(黄色)を超えました。

■「樋門(ひもん)」って、何をするものなの？

樋門は、堤防の中をコンクリートで横切ってつくられる水路です。水田などに川から水を引いたり、雨水を市街地や田畑から川に流すための施設です。

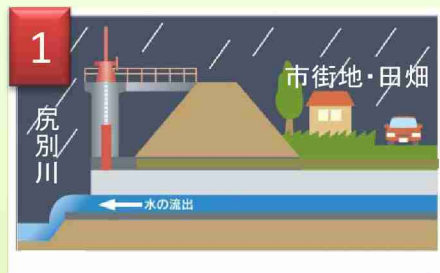
尻別川の多くの樋門は、市街地や田畑からの雨水や雪解け水などを川に流しています。しかし、川の水が高くなると、川から逆流してしまいます。そうなる前に樋門の扉をしめ、市街地や田畑に川の水が逆流しないようにしています。

倶知安開発事務所では41カ所の樋門を管理しています。

樋門(旧蘭越1号樋門)



基本的な樋門の操作



1. 市街地や田畑より川の水位(水かさ)が低いときは樋門の扉を開けて川に水を流します



2. 洪水で川の水水位が上がったときは、市街地や田畑に逆流ないように樋門の扉を閉めます。逆流を防ぐことで市街地や田畑の浸水を軽減します。

■樋門操作人の皆様に感謝！



5月4日増水時の三浦樋門



4月27日増水時の田中樋門

今回の尻別川が増水した時にも樋門を閉めて川からの逆流を防ぎ、市街地や田畑を洪水から守りました。

各樋門の操作は、樋門操作人をお願いしています。樋門操作では、川の水かさが増し、基準の水位まで増水すると樋門の「洪水警戒体制」に入ります。今年の融雪では、4月23日～5月6日の間に洪水警戒体制が数日続きました。体制になると昼夜を通して樋門の見回りを行い、川から水が逆流する前に扉を閉めて市街地や田畑を守ります。

尻別川の樋門操作人は地先の方に引き受けていただいています。台風や融雪出水から市街地や田畑が守られている陰には操作人の皆様のご努力があるのです。～樋門操作人の皆様に感謝～

尻別川新聞では河川での取り組みや工事、イベント、地域の情報など様々な話題を取り上げていきます。

ご不明な点がございましたら倶知安開発事務所蘭越分庁舎までご連絡ください。

小樽開発建設部倶知安開発事務所蘭越分庁舎
(旧蘭越河川事業所)
0136-57-5331